第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

構想の推進

総合計画を推進するための土台づくり

- 1 全員参加によるまちづくりの推進
- 2 市民の信頼に応える行政運営
- 3 健全かつ持続可能な財政運営

担当課	企画課・秘書広報課・デジタル政策課・庶務課		椲	靖想の推進1	の全指標達	成率	
構想の推進 総合計画を推進するための土台づくり		年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	全員参加によるまちづくりの推進	指標数	15	15	15	15	15
日指す姿	市民が積極的に様々な活動に参画することができる	達成数	8	7	9	10	0
日担り安	市民が持てる力を最大限に発揮し、想いを形にできる	達成率	53.3%	46.7%	60.0%	66.7%	0.0%

					指標数	2	2	2	2	2					
1	成月	₹指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0					
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22/11	10.11.			
成	₽	「市民活動な	よどの地域活動の推	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		担当課			
指			している市民の割合	R2	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	%	秘書広			
1		(市民満足馬	度調査)	65.9%	実績値評価	59.2	57.9 × 未達成	59.8	61.2		以上	報課			
	: /-	「古兄活動な										¥10/			
目標の			この地域活動の推進」に満 見込む中で71.0%とした。	EO CO	911PCM	剖口にノ	八〇、一九	乙叶及天鹅	₹00.9%Œ	参照し、	546	ž I 70			
考え		1970	71231 (11.07020/2.												
			トニかがこがへのさ	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成			をうかがう機会の充	R2	目標値	52,0	53.0	54.0	55,0	56,0	0/	* · · · · ·			
指 2	- 1		ンている市民の割合 中調本〉	E0.70/	実績値	43.0	46.0	46.0	47.3		%	秘書広報課			
		(市民満足別	支祠宜/	50.7%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	羊区 ō木			
目標	値	「市民の声を	うかがう機会の充実」に満	足している	る市民の	割合は、	令和2年度	実績50.79	%を参照し	、各年度	1%₹	星度の			
		上昇を見込む	中で56.0%とした。												
考え															
	1	1(実 績 評 価)・魅力あるまちづくり事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から事業控えとなったことなどにより、基準値を下回ったと考えられる。													
		(次年度修正点)・引き続き魅力あるまちづくり事業補助金について手引きの送付やHPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っ													
R 3		ていく。													
年	2	2(実績評価)・新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度からタウンミーティングの参加対象者を限定したことなどによ													
度	-	り、基準値を下回ったと考えられる。													
		(次年度修正点)・令和4年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症対策は不可欠であることから、市長への手紙や意見箱な													
	(次年度修正点)・う和4年度についても、引き続き新型コロナリイルス感染症対策は不可欠であることから、市長への手紙や意見相など、タウンミーティング以外の広聴手段について周知を図っていく。 1 (実績評価)・魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施し、魅														
	1	(実績評価)													
			力あるまちづくり事業補助金の業控えとなったために基準値				. ノい (補助:	半さ2/3/15	03/4IC515	き上げたか、	長期	即の争			
R		(次任度修正占)	・引き続き、魅力あるまちづく				3 6 推進重業	補助金につ	いて毛引き	の送付やHF	ア ヘの	掲載な			
4			どで周知し、地域活動の推進	を図ってい	1<.										
年度	2	(実績評価)	・令和4年度から新たな広聴	制度として	市政WE	3アンケート	- を開始し、	広く意見を	伺う機会を	創出したも	のの、	新型コ			
芨	_		ロナワイルス燃発症刈束のに	め、令和2	年度から	タウンミー	ティングの	参加対象者を	を限定したこ	ことなどにも	とり、	基準値			
		(勿年度校正占)	を下回ったと考えられる。 ・引き続き、市政WEBアンケ	・_ トかまり	≡∧の壬纟	4 辛日筠#	マどの広聴生	座について	田知た図っ	ア ハノ					
		(水牛及廖正黑)	* SIO MOO、IP D WEB P フリ	— I. (SIPI	マハの子が	以、	よこり)仏師市	浸にフバし	同型で図り	CUICO					
	1	(実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助	助金及び伊	東市SDC	as推進事業	美補助金など	市民が自主	的に行う事	業への支援	を実施	した			
	ľ		が、長期的な事業控えとなった							-11					
		(次年度修正点)	• 引き続き、魅力あるまちづ			伊東市SDC	as推進事業	補助金につ	いて手引き	の送付や市	HP^	の掲載			
R			などで周知し、地域活動の推議												
5	2	(実績評価)	・意見箱、市政WEBアンケー ら新型コロナウイルス感染症	・ト、市長/	への手紙、	タウンミー	ーティングを	通じて広く	意見を伺っ	ているが、	令和2	全年度か			
度			り利望コロナワイルス総条症に回ったと考えられる。	り束りだめ	ハング・ノノ	ミーティフ	つい参加別	家白で派走り	JIECCAC	こにみり、E	一际但	21			
		小原左连接工具		. N. F. O. 4	>+n++ <i>4</i> >+	<i>+</i> 2004+	: =#~+ _	ナルシャロ マ -	セフレニニー	+7 6 6+1	- =:	÷.4±			
		(次年度修止点)	・令和6年度はタウンミーテーき、市政WEBアンケートや市							9 0 C C t 1	_、51	さ続			
	1	(実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助							業への支援	を実施	あした 。			
	Ι'		長期的な事業控えとなったた							* 107×10		5070			
		(次年度修正点)	・令和7年度は、魅力あるま	ちづくり事	業補助金	の防犯灯設	置事業にお	ハて、補助図	率を増額さt	せたため、き	川き続	き手引			
R			きの送付や市HPへの掲載など	で周知し、	、補助金和	利用の推進を	を図っていく	. 0							
6	2	(実績評価)	・意見箱、市政WEBアンケー	ト、市長/	への手紙、	タウンミー	ーティングな	どを通じて	広く意見を	伺っている	。令和]6年度			
年	-		のタウンミーティングは、参加		を限定せ	ず、誰でも	参加できる	形式とした。	ことなどに。	より、目標値	直は下	回った			
度			ものの、満足度は昨年度より	上升した。											
		(次年度修正点)	タウンミーティングを「市	長と語る会	:」に名称	を変更し、	インターネ	ット環境が	整っている名	会場において	こは、				
			YouTubeでのライブ配信を行									制度に			
			ついて周知を図っていく。												

					指標数	13	13	13	13	13		本的な取		
2	. 1	基本的な取組(2桁コート	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	8	7	9	10	0	容	・主な内 の達成状		
					達成率	61.5%	53.8%	69.2%	76.9%	0.0%	況			
		A 100 A	- 14124		指標数	3	3	3	3	3				
(01	市政への参画機会	の推進	達成状況	達成数	1	0	1	2	0				
					達成率	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	-	担当課		
		, , , パブリックコメント	 の │1 件に対する意見	R1	目標値	3	3		3	3	件			
	O.	101 推進	数(年間平均)	2件	実績値	12.3	2.8	·	-			企画課		
			27. (110110)		評価		× 未達成		〇 達成		以上			
		市民との協議機会の	 充 未来ビジョン会議	R1	目標値	10	10	10	10	10				
	O.	102 市民との協議機会の 実	の開催回数	80	実績値	2	3	8	12			企画課		
			-5701223					× 未達成			以上			
			参画割合	R2	目標値	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0	%			
0103 番議会等への参画推進 (参画人数美数/ _{72.8%} 実績値 71.7 66.5 69.8 64.4												企画課		
	O101 令和3年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は49件となった。内容としては、伊東市新図書館基本計画(案)につ													
	いて多くの意見があったことから目標達成となった。今後も、多くの意見をもらえるよう、市民等に対し周知に努めていく。													
	R			なった。分	後も市民	Rとの協議機	会の充実を	図るため、	新型コロナケ	ウイルスの	 	況を踏		
	3		方法で実施していく。	11781	0 D = X 0		- ア いっナ	- 1.7-1-	N.S. 手指1	マハマナナ	- /55	1 + 1 >		
		0103 令和2年度と比^ よう庁内において	、美績個が減少した。 審議会に重複している									しない		
		0404 令和4年度のパブ	リックコメント案件は	4件、意見	の総数は	11件となっ	た。内容と	しては、伊	東市立地適	正化計画(案)に	対する		
			多くの意見があったか						要版を作成し	し、分かりか	ゆすい	ように		
	R		より多くの市民から意											
	4	0102 コロナ禍の影響に			年度以降	は、新型コ	ロナウイル	ス感染症が収	収束しつつ	あることから	5、市	民との		
			図るため、開催してい					·		22.1.1 1		>		
年		0103 昨年度と比べ、実	器績値か減少した。多く 記している方の情報共有							選出しない。	よつ厅	内にお		
_	-	0101 令和5年度のパブ								苗計画 (室)	1 7	する音		
		見募集について、	23人から49件と多	くの意見か	でいる。	1、関心の高	さが認めら	れた一方、	福祉分野に	関する2件の	か案件	につい		
度			あった。概要版の作成									,		
	R	O102 オンライン参加も		参加される	(未昌の自	当日も老虎す	る山で関係		たことから	日煙同粉	十丰冷	时上		
≣π	5	ひつとカフラーフ参加した	すい回数と充実した内				9十 (単画	数で加重し	/ccc/3/5/	. 口际凹数1	の不圧	13X C		
οŦ		0103 昨年度と比べ、実					る方もいる	ことから	日標値には	電かなかっ が	F. 3	き続		
			方を選出しないよう、											
価	i	させるよう努めて								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
		0101 令和6年度のパファー 音目数の年間	リックコメント案件は 平均は目標値を達成し								半数の)4件		
	R	0102 昨年に引き続きる									直を達	成する		
	6	ことができた。				1-7/-			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	. = 1 6. =		7 mm		
		0103 昨年度と比べ実績で重ねしている方												
		で里復しているだけるよう努めてい	iを選出しないよう、庁	立にもこ	番譲去し	-里復して	の刀の情報	共有を図り	、多くの中国	大い思兄を「	コ以に	、汉明の		
		こ ひか ノカツ しり	\ \ o											

					Us I T W						1			
		、市民の自主的なまち	づくり活動へ	- b. i b. i	指標数	3	3	3	3	3				
(2	つうな		達成状況	達成数	1	1	2	2	0				
					達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		地域や市民活動団体等	まちづくり事業又	R1	目標値	58	59	60	61	62	団体	企画課		
	02	201 が行う社会貢献活動へ	は文化振興事業実	56団体	実績値	43		54	47			秘書広		
		の支援	施団体数			× 未達成		× 未達成	× 未達成		以上	報課		
		市民活動団体等を対象	相談会・研修会の	R1	目標値	13	13	13	13	13				
	02	202 とした相談会や研修会	開催回数	110	実績値	10	11	13	13			企画課		
		などの開催	751222		評価	× 未達成		0	〇 達成		以上			
	HP・広報紙等で 目標値 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2													
	0201 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止する団体があったため、事業を実施した団体数は43団体となり目を下回った。													
	を下回った。													
	R O202 新型コロナウイルス感染症の影響から、市民活動団体等がイベントの開催等の活動を見合わせるようなケースが多かったと考えられ、相談会の対応件数が減少したことで、目標値を下回った。													
	3						- <i>i</i>							
	0203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。													
		O2O1 新型コロナウイルス 引き続き、各補助制			はなかっ	たものの、	事業実施の	団体数は5	6団体となり	り、目標値を	を下回	った。		
	R	0202 新型コロナウイルス	感染症の拡大により	、活動自粛	などの行	動制限が強	いられたた	め、活動を	見合わせる	団体が多く、	それ	に伴い		
年	4	相談会への申込み件	数が減少したことで	、目標値を	下回る統	ま果となった	-0							
		0203 広報紙にて3団体の	活動を紹介し、加入	促進のため	自治会活	5動の周知を	行った。							
æ														
度		0201 事業の中止はなかった			54団体	*となり、E	標値を下回	った。引き	続き、市民活	舌動団体等力	が活用	できる		
		- 各補助制度の効果的		-										
評	R	0202 相談会を開催した結			-,-,		ら市民活動図	団体へ活動範	囲を拡大し	ていきたい	方のホ	目談が		
	5	あるなど、市民活動				-								
/11		0203 広報紙にて3団体の	活動を紹介し、加入	促進のため	自治会活	5動の周知を	行った。							
価			170H1+0	+=++		1 		** ***	+ - D + A D + 4	Luck a 44 CD 4) = 0 (= f) T		
		O2O1 事業実施の団体数は めていく。【秘書広												
		よう、支援制度につ						日际恒でい	旦る而未()	よりに。日代	示旧に			
	R	より、文版的及につ	VICE RECEIVED	O CVI VZ	15 C) (C)		~ 1							
	6	O2O2 相談会及び研修会の							を利用する	団体や研修会	会への	参加団		
	Ŭ	体が固定化してきて	いる状況にあるため	、開催内容	等につい	て、工夫し	ていきたい	0						
		0203 広報紙にて3団体の	活動を紹介し、加入	促進のため	自治会活	5動の周知を	行った。							

※1 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

			びわかりかす		指標数		4		4		4		4	4		
(03	りには、四点の元天文で	017/3/77 (29	達成状況	達成数		3		3		3		3	0		
			1		達成率	7	75.0%	7	75.0%	7	5.0%	7	5.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7		担当課
			市からの情報提供	R2	目標値		64.0		66.0		68.0		69.0	70.0	%	秘書広
	O3	301 広報紙等の充実	に対する満足度	62.9%	実績値		53.7		55.5		59.4		64.2			報課
					評価	X		_	未達成	X		X	未達成	400	以上	
	0	302 SNS等を利用した情報を表現の		R1	目標値		480		480		480		480	480		秘書広
	O:	302 報提供機会の創出	年間掲載回数	3190	実績値		1,064	-	799		572		712		15.1.1	報課
				D0	0	0		0	達成	0	達成	0	達成	4.0	以上	
	0	000 市民が意見や提案をし	タウンミーティン	R2	目標値		16		16		16		16	16		秘書広
	O.	303 やすい環境づくり	グの開催回数	16回	実績値評価		17		16	$\overline{}$	17	$\overline{}$	16		IN L	報課
			0	達成	0	達成	0	達成	0	達成	4	以上				
	わかりやすい文書等の 文書事務研修会の R2 目標値 1 1 1 1 1 1 0												庶務課			
	0304 作成のための仕組みつ 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
		• •	 	シュフニルが							達成	-	達成	とい 亜田川	以上	
		0301 基準となる令和2年原内容が推察される。														
	内容が推察される。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に特化した広報紙を作成していたが、令和3年度の情報発信は必要最 低限に留めた。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報を意図的に発信することが必要である。															
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上															
	3	回った。 0303 令和2年度に引き続き	き、新型コロナウイ	ルス感染症	対策のた	こめ .	、規模を	E縮/	小して開	催。	市内1	5地	区に加え	え、伊東市	РТА	連絡協
		議会及び伊東市保育	園父母の会連合会と	の子育て世	帯タウン	ノミ	ーティン	/ グ	を開催し	、多	くの意	見を	聴取した	こ。		
		0304 文書事務に関する新信	王研修のほか、ガル	ーン資料室	屋に 1伊東	である	の文書事	■務_	を掲載	J.,	職員へ	の周	知を図・	った。		
		0301 基準となる令和2年度														
		内容が推察される。 ⁴														保険・福
年		O3O2 令和2年度からメール	ルマガジンと各種SI	NSを連携で	させるこ	とに	より、含	子課	からSN	S/(の即時掲	載	を可能と	し、目標値	を大	
•	R 4	回っている。毎日配信 は減となった。	言を行っていた新型	!コロナウィ	ルスの原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	者状況を	E 令	04年9	月カ	ら週ー	回 の	配信と	したため、前	前年度	実績比
	_	0303 令和2年度に引き続き									た。市	内1	5地区(こ加え、伊勢	東市保	育園父
度		母の会連合会との子記 0304 文書事務に関する新記									職員へ	の唐	知を図っ	った。		
		O3O1 令和5年度は令和4年 ニーズに合った広報														弐の
評		0302 令和2年度からメール											を可能と	し、目標値	を大	幅に上
	R 5	回った。新型コロナワ 0303 引き続き、新型コロフ											(円亩)	も収益周424	¬^	油合合
)	及び伊東市PTA連絡												八人四日本山	ਹੁ∪ੁ	注口云
Æ		0304 文書事務に関する新信職員への周知を図った		職員が閲覧	できるス	ゴル	ーン(ク	ブル	ープウェ	ア)	資料室	C F	伊東市の	の文書事務	」を掲	載し、
価		高東への周辺を図り 今和6年度は令和5年	こ。 年度に実施した市政	WEBアン	ケートで	特に	希望の	多か	った「個	津康	• 医療	の言	記事を中	小に掲載し	, 9,	目号で
	O301 令和6年度は令和5年度に実施した市政WEBアンケートで特に希望の多かった「健康・医療」の記事を中心に掲載し、9月号では認知症支援に関する特集を掲載するなど、市民のニーズに合った広報紙の作成に努めた。目標値を下回ったものの、満足度は上昇した。引き続き、市民のニーズを把握し、情報発信に努めていく。										度は上					
	R6	0302 令和2年度からメール 回った。														
		0303 令和6年度のタウン 協議会との懇談会を関	開催し、多くの意見	を聴取した	-0				-,,, - , -							
		0304 文書事務に関する新作 職員への周知を図った		職員が閲覧	できる	ゴル	ーン(ク	ブル・	ープウェ	ア)	資料室	C [伊東市の	の文書事務」	を掲	載し、

		, 情報化の推進及びデ	ジタルナー		指標数	3		3	3	3	3		
()4	りが一つが一つが	ングル社云へ	達成状況	達成数	3		3	3	3	0		
		שוועאכט			達成率	100.09	6 1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3		R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			ホームページアク	H27-R1平均	目標値	805,00	0 8	10,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタ
			ヤス件数	802,792件	実績値	1,497,89		262,677	904,138	933,533			ル政策
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2,111,21		評価	〇 達成	C	達成	〇 達成	〇 達成		以上	課
	O ₄	401 ベームベーグ・ベールマガジンの充実	 メールマガジン登	R1	目標値	13,00	0	13,500	20,000	20,200	20,400 (15,000)	人	デジタ ル政策
			録者数	12.671人	実績値	19,18	2	19,940	20,487	26,127			課
				12,011	評価	〇 達成	C	達成	〇 達成	〇 達成		以上	
				R3.2.1	月標値	5	\cap	65	130		160		デジタ
	\cap	402 オープンデータ化の推 進	オープンデータの	1 10.2.1					(80)	(95)	(110)	件	ル政策
	0-	進	公開件数	34件	実績値	8		117	133	148			課
	R	O4O1 「市の魅力の発信」 成することができた。		に重点を直	いた情報	がい提供の	でき	るよう職	真に対して	研修等を実施	他すること	୯, 目	標を達
	3	0402 市が保有するデータ	を積極的にオープン	データとし	て公開す	けることで	、	標を達成	することが	できた。			
-	R	0401 「市の魅力の発信」) 成することができた。			—					-,		₹, 目	標を達
年度	4	O4O2 市が保有するデータを また、積極的に公開					、 E	標を達成	することが	できた。			
区評	R	0401 「市の魅力の発信」) 成することができた。		に重点を置	いた情報	るの提供か	でき	るよう職	員に対して	研修等を実施	施することで	₹, 目	標を達
5 0402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。													
	R	0401 「市の魅力の発信」) ページのレイアウト											
	6	0402 市が保有するデータ	を積極的にオープン	データとし	て公開す	することで	`	標を達成	することが	できた。			

※機構改革に伴う業務の見直しのため、 \sim R4:秘書課,情報政策課、R5 \sim :秘書広報課,デジタル政策課 ※目標値における()は、当初の目標値

担当課	企画課・職員課・庶務課・デジタル政策課・収納課		槙	請想の推進2	の全指標達	成率	
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	市民の信頼に応える行政運営	指標数	21	21	21	21	21
日世才次	市民に信頼される	達成数	13	12	14	16	0
構想の推進		達成率	61.9%	57.1%	66.7%	76.2%	0.0%

										4			
				指標数	1	1	1	1	1				
1 .	成果指標(KPI)			達成数	0	0	0	0	0				
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	「市民に対る	する市職員の対応」に	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課			
成男			R2	目標値	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	% поп ==			
指標 1		る市民の割合(市民満	C7 20/	実績値	62.3	64.2	67.6	66.3		職員課			
'	足度調査)		67.3%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
目標	直 令和2年度実績	67.3%を参照し、各年度	1%程度0	り上昇を	目指し、7	3.0%とし	た。						
の													
考え	え方												
R	(実績評価)・目標未達成であるが中期的な実績としては、平成29年度の57.5%、平成30年度の58.0%、令和												
3		6.0%と比較して向上して	いる。										
年	(次年度修正点)	・職員研修を実施し、接遇技	術の向上を	図ってい	< 。								
度													
R	(実績評価)	• 令和3年度を上回る実績値	であるが目	標値には	達していな	l 1.							
4													
年度	.,	・目標と実績の差は縮まって	いることか	ら、引き	続き職員に	よるおもて	なしコンシ:	ェルジュを乳	ミ施し、市崩	戦員の対応の			
		満足度向上を図る。											
R	(実績評価)	• 接遇に関する研修を実施し	(いるか、	日標値に	は達してい	ない。							
5	() 与左连(47.11年)		いフートか	> =1+	#±##0/	トフナナナ	5.1. 3.1.	υ >» <i>τ</i> π <i>ι</i> κ	7 + + + 1	+1100 0 5 5			
年度	■ (次年度修正点)・目標と実績の差は縮まっていることから、引き続き職員によるおもてなしコンシェルジュ研修を実施し、市職■ 麻の満足度向上を図る。												
R 6	1 (天視計画 /	・按照に対する可形で失肥し	こうらい、	日际順に	はほしてい	(d. V 1 ₀							
年	(勿年度修正占)	・接遇に関する研修について	研修前に	夕如宝に	車前アンケ	- トを宇施	1. 問題占(が洗い出した	マオスように	内突を目店			
度		すなど、目標値達成に向けて						ט שו טווער	19 DO JE	アンロセルビ			
		アルス 日本記述外に同りて	3,2000	. C. C. 19.12	シンドラ・ハラエ	C = 30							

	-		149 (O#== 1*)	きな中央 ノルギー	1.5	指標数	20	20	20	20	20		基本的な取 1・主な内
2	ż	を 本的 仏取	組(2桁コート)	・主な内容(4桁二	- - -	達成数達成率	13 65.0%	12 60.0%	14 70.0%	16 80.0%	0.0%		の達成状
						指標数	5	5	5	5	5		湿
(21	信頼さ	される人材の育用	或	達成状況	達成数	3	2	3	4	0		
		<u> </u>	- ta th th	左T用+匕+而	甘淮店	達成率	60.0%	40.0%	60.0%	80.0%	0.0%	24 J.T.	+O \V = H
			での一般である。	管理指標	基準値	目標値	R3 80.0	R4 80.0	R5 80.0	R6 80.0	R7 80.0		担当課
	0	1()	情勢をとらえた研	集合研修等で実施する アンケートにおける受	_	実績値	100.0	95.0				%	職員課
		修の	夫肔	講者の習熟度	% 2	評価		〇 達成	0 1011	〇 達成		以上	
		400 I±+5	45.45(四)红新	職員採用試験にお	R2	目標値	90	95	100	100	100	人	π+h Φ = π
	ľ	102 慎熞	的な採用活動	ける受験者数	87人	実績値評価	118	83	79 × 未達成	115		以上	職員課
				人事評価に関する研修		目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
	0	103 ^{効果(} 施	的な人事評価の実	等で実施するアンケー トにおける受講者の習	-	実績値	_	100.0	100.0	100.0		%	職員課
		池		熟度	% 2	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		4 O 4 T#1 P		4+	R2	目標値	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	%	TH: C = C
	0	104 職員	の心身の健康保持	特定保健指導実施率	32.4%	実績値評価	29.4 × 未達成	38.9 × 未達成	37.3 × 未達成	39.3 × 未達成		以上	職員課
		THE C		伊東市職員業務応		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	0	105 ^{職貝} 充実	相互の応援体制の	援体制実施要領に	-	実績値	100.0	66.7	100.0	100		%	職員課
		, , , ,		基づく実施率	<u>*3</u>	評価		× 未達成		〇 達成		<u>. </u>	
				監督職を対象とした: は「よく理解できた ₋							理解できた	. と回2	きした受
											(N/C / 3) 34 1 - 1		0.55
	П	3	年度については、技	員試験対策が不要な 能労務職員の試験を	実施したこ	とから、る	さらに受験者	数が増加した	=				
	R 3	0103 分	和3年度は、受講対新任管理者研修した	象の人数が少なく、 おいて学習している	更東市でので が、派遣研り	研修が実施	他できなかっ こめ、アンケ	た。人事評価	面については 図熟度の測定	、静岡県市町ができなかっ	可村振興協会	が主作	崖する
		0104 令	和3年度は夕方の受	講時間枠を増やし、個								ンセル	レが発生
			たことから受講率が ロナワクチン接種事	減少しに。 務、防災資機材の移動	動作業、住民	 民税非課	说世帯等臨時	特別給付金約	合付事務にお	いて職員のM	応援を実施し	た。	
				監督職を対象とした							理解できた	と回答	きした受
				「よく理解できた」									
		しい	般事務(大卒)及び 民間企業への就職希 指す。	技能労務職員の受験 望が増加したものと!	者数が伸び 推測する。	ず、目標(B) 引き続き、	直を下回った インターン	。新型コロフ シップの受力	ナウイルス感 しれや積極的	染症が5類点 な広報活動を	感染症へ移行 を行い、受験	したで 者数の	ことに伴り増加を
	R 4	0103 新	任管理職を対象とし	た人事評価制度研修 ができたため、研修									
年		 0104 指	導対象者に通知を発	出し受講の意思を確認 ため、目標値を達成	忍している。	。令和4年	10月に会	計年度任用語	戦員等が共済	組合に加入し	たことによ	り、月	テ舎外対
				にめ、自標値を達成 課には利用方法等の語									
度		施	に至らなかった。引	き続き、制度利用を記 を2回実施した。研	希望する課人	こ利用方法	去等の説明を	行っていく。					
		均	が100%であり、	目標値を上回った。									
		の	と思われる。今後は	ついては再募集を行試験実施時期等の見	直しを検討	し、受験を	者の増加に努	めたい。					
評	R 5	0.00	任管理職を対象とし 上回った。	た人事評価制度研修を	を実施した。	。eラーニ	ングでの実施	他により、受	講者のペース	スで学習する	ことができた	こため	目標値
			導対象者に通知を発 講者増加に努める。	出し受講の意思を確認	忍している	が、希望を	する職員の割	合が低く目標	標値に達しな	かった。今後	後も対象者に	制度を	を周知し
価		0105 短	期的に人員を要する	部署に利用方法等の	説明を随時	行い、2個	牛の制度利用	があった。					
,,,,,,		⁰¹⁰¹	た、各集合研修後の	員の意識向上を目的I アンケートにおいて、	受講後に					できた」と回	回答した受講	者の割	割合は1
				に達することができた		-1			\2 ±= #:			141	
	R	る	ことができた。今後	よる受験申込のほか、も採用試験の実施時期	朝を早める	等受験し						増加に	こうなけ
	6	e-	ラーニングでの実施と	た人事評価制度研修を こし、受講者のペース	で学習でき	る環境を							
				組合が行う特定保健抗 上回ったことから、S						講する者の害	合が目標値	に届か	なかっ
		O105 短	期的に人員が不足す	る業務として、市民	果「おくやる	み窓口」。	上教育総務課	「学校等施記	设関係事務」	の2件につい	いて制度利用	があっ	った。

※2 令和2年度までは、ポイント制としており、令和3年度からはパーセントでの集計とするため、基準値を一とした。 ※3 令和2年度末に伊東市職員業務応援体制実施要領が策定されたため、基準値を一とした。

						指標数		4	4	4	4	4		
(2	2 持級	抗可能な行政運営の	の確立・運用	達成状況	達成数		1	1	2	2	0		
				1		達成率	2	5.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		Р	DCAマネジメント		R2	目標値		25.0	25,0	25,0	25.0	25.0	%	
	02		イクルの推進	見直し事業の割合	20.6%	実績値		22.8	23.8	22.1	21.8			企画課
					20.070	評価	X	未達成	× 未達成				以上	
					R2	目標値		55	60	(120)	60 (400)	60 (600)	<i>II</i> +-	
	O2	202 改	「革提案機会の推進	私の一改革提案件 数		実績値		52	48	57	47	(600)	件	企画課
				奴	48件				× 未達成				以上	
				先進技術を取り入		目標値	^	検討	1	2	3	4		^ T=m
		203 先	進技術(A I • RP	れた業務数(累	_	実績値	1	証実験	1	4			業務	企画課デジタル
		_00 A)等の活用推進	計)	% 4	評価	_		〇 達成	O 達成	〇 達成		以上	政策課
											6	7	->- <u>-</u>	
	_			サマーレビューにおけ る委託代替え事業数及	R2	目標値		1	2	3	(4)		業務	
	O2	204 民	間活力の活用推進	び新規委託事業数(累		実績値		0	1	5	6		212323	企画課
				計)	1業務				× 未達成		O 達成		以上	
		0201	令和2年度に比べる	- ヒパーセンテージが	上昇したか							重点的な見画		目を増
			やすことで、積極的な	な見直しにつなげる	•									
		0202	令和2年度に比べる	と提案数は若干増加	したが、E	標値には	は届れ	かなかっ	た。今後も	優秀提案等	を実現する	ことで、提案	€数の	増加に
	R		努める。											
	3	0203	音声文字変換システム	ムについて、令和4	年度の導入	、に向けま		実験を実	施した。					
			+	キーにおいて モギ	/ \L \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	/ 士 フ 吉 *	41-1-1	= +> +	△ ∓⊓ 4 Æ	# ^ #_	خاا کا	ケーソナ コ	-1-	<i>₹</i> 7 =# 0
		0204	サマーレビューの見画											
			以间沿沙沙山市进程的		2000 OIC		ノル圧の	回しつかがに	אורטאונטוט.	元として		尹未り心山	ルンカ	ه که رق
		0201	見直し事業の件数はは			らり、割合	<u>}と</u> (しては目	標値に届か	なかった。:	令和5年度(こついても、	引き	続き見
			直し項目を増やし、私											
		0202	令和2年度と同様の担											
_			に、ボトムアップ提覧 て、庁内の共有ポータ	条については、人賞 5世サストに担密を	した提案を	中心に乳	€児? ∍/⊂≡	すること	で、提案件	数の増加に	努めていく。 なったため	また、目標	県値に	つい
年	4		ら変更する。	メルソイトに従来で	技術すると	ことを別な	Eادة	文化した	.0′、平连用	n. (Ga/	1 1 1 C C C C C C C C C C C C C C C C C	日际胆グト		4.及刀
	_	0203	- ララステラの。 音声文字変換システム	ムを導入したことに	より、会議		計間(の短縮に	つながり、	業務の効率を	化に寄与した	ر		
		0204	新規事業を委託にてい						サマーレビ	ュー実施に	当たっては、	民間活力の)活用	推進に
度			係る検討を重点項目を											
		0201	全事業数は増加した一		数は減少と	こなった。	形式	式化した	作業にとど	まらない事	務事業の見る	直しを実施し	ノてい	くた
			め、職員の意識醸成者			Name IN II als		- 10-		_				
		0202	前年度から提案件数は境を検討する。	は微増となったもの	の、目標末	達成とん	102	こ。提案	と実践につ	なかるよう	丁内 ぐの情報	城共有と捉箸	きしや	すい境
評			音声文字変換システム	ついてけ <u>ご</u> き結	き活用して	おり =	ごミジス	カル政等	=====================================	如(つ業級)	、 たDD A IT	上八白動化	オスニ	・ト~茶
	5	0203	毎戸又子気換システム 務時間の削減を図った	なについては引き続た。また観光課の公	式HP「伊	豆・伊東	担当	ガイド	:昧来物の一 内で、Alli	□ (∠未物) 「よる観光∓	ノをNPAIC =デルコース	より日勤し! の作成サー	タると ビスタ	を提供
			した。		-VI II . D .		E/11/ C	,,,,,,	1 13 67 7 110			(0) 1 /20 /		230217
		0204	事業見直しに伴い、新	新規に民間活力の活	用を進める	多事業は4	1件t	曽加し、	累計5件と	なり、目標	値を上回った	こ。令和7年	F度の	目標値
価			を達成したため、令利											
		0201	過去3年間の目標値を											
			方」「業務量・時間の										るも	0)0),
目標値には届かなかったため、効果的・効率的な事業内容への改革・再構築へ向けた議論を深めていく必要がある。														
	R	0202	提案件数は減となり、	目標未達成となっ	た。提案と	実践にこ	つなか	がるよう	既存の提案	等の庁内では	の情報共有に	はもとより、	提案	と実践
	6		につながる考え方や万											
		0203	これまでの取組に加え									鈴的に使用し	た。「	自治体
		000	業務への活用が見込む											
		0204	事業見直しに伴い、新	析規に民間沽力の活	用を進める	多業は1	件で	ごめった	にめ、累計	6件となり、	目標値を上	口った。		

※4 令和3年度から新たに検討していくものであることから、基準値を一とした。

		指標数	1	1	1	1	1						
O3 広域行政等の推進	達成状況	達成数	1	1	1	1	0						
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%						
主な内容を管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
タキ四等とのタム駅に 他自治体・企業等		目標値	2	4	6	8	10	事業					
0301 各市町等との各分野に じらんがまます との新規連携事業	_	実績値	2	6	9	12		尹未	企画課				
数(累計)	% 5	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上					
R 0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。 3													
年 R 0301 他自治体と合同でセミナー等を開催する 衰 4	ことで、対	果的な情	報発信をす	ることがで	きた。								
評R 0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。 価 5													
R 0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。 6													

※5 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

					指標数	2	2	2	2	2			
	04	- 内部統制の推進		達成状況	達成数	1	1	1	1	0			
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		404 業務プロセスの可視化	不適正な事務処理の	R2	目標値	0	0	0	0	0	件		
	O ₄	401 未物プロピスの可税化 (事務の見える化)	発生件数(懲戒処分	O件	実績値	1	2	1	2		-	職員課	
		(事物のりにのに)	を受けたもの)		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
			業務手順書のホー	R2	目標値	280	400	410	420	430	件		
	O	402 業務手順書の整備	ムページでの公開	250件	実績値	392	404	418	425			職員課	
			数		評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上		
	O401 市の文書取扱規程に違反したとして職員1人が懲戒処分となり、目標が達成できなかった。法令順守の徹底や、事務処理ミスの未然防止に努めていく。												
	R I3	0402 令和3年度で主な業績		月指してお	り、目標	を上回る業	務・事業に	ついて、手	順書を整備	分開する	ことが	でき	
	3	た。令和3年度時点での充実を図っている	で令和4年度以降の										
		0401 発生した2件につい	**	不足が原因	であるた	か 全後士	コンプライ	アンフェルタ	カハラフィン	ソト四次たコ	おおし	. 71	
_	R	プライアンスの強化を		1、佐刀、尿区	100010	し、ファウ			(P/1)///.	ノーリッシュラ		、 」 」	
年	4	0402 業務手順書の活用に	よる業務の可視化・	平準化に努	がた。								
度			0.4.1t. = ==============================	± . 1		- TO - A -		/=====	1 +				
=1	R	0401 職員の認識不足により	ソ生じた事業 である	にめ、研修	寺を通じ	して職員全体	のコンプラ	イアン人同.	上を図る。				
51	5	0402 令和4年度に引き続き	き業務手順書の定期	見直しを行	い業務の	可視化・平	準化に努め	<u></u> た。					
佃	個												
	O4O1 業務手順書の作成を通じて業務の可視化を進めているが、職員の認識誤りによる不適正な事務処理が2件発生した。												
	R	事務処理ミス防止の							図る。				
	6	0402 前年度に引き続き、美	業務手順書を定期的	に見直すこ	.とで、業	終の可視化	· 平準化に	努めた。					

					指標数	2	2	2	2	2		
(25	情報公開及び個人情報	報保護の推進	達成状況	達成数	1	1	1	2	0		
					達成率	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		情報公開制度の適正な	情報公開請求に係	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	
	O	501 運用	る15日以内の処	100%	実績値	85.2	92.2	90.2	100		/0	庶務課
		Æ/13	理割合	, •	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成			
		個人情報保護制度の適	自己情報開示請求に	R1	目標値	100	100	_	l	_	%	
	O	502 正な運用	係る15日以内の処 理割合 ※6	100%	実績値	100	100	_	l	-	/0	庶務課
		正改建力	100%	評価	〇 達成	〇 達成	_					
		個人情報児業制度の済	保有個人情報開示請	R1	目標値	_	_	100	100	100	%	
	0503 個人情報体護制度の適 求に係る30日以内			100%	実績値	_	_	100	100		/0	庶務課
		正改建力	の処理割合 ※6	100%	評価	_	_	〇 達成	○ 達成			
	R 3	0501 15日を超過する処理 いく。0502 今後とも適正な事務報				った。適正な ロに努めてい		を図るため、	職員に対す	る制度周知	を徹底	送して
年	_	0501 15日を超過する処理 い。 0502 今後とも適正な事務等 ※制度改正に伴い合利	執行を図るため、職	員に対する	制度周知	□に努めてい	きたい。				を徹底	多した
O501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底した IT IT IT IT IT IT IT IT										送した		
価	5	0503 今後とも適正な事務報										
	R	0501 今後とも適正な事務報										
6 0503 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。												

※6 制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標0501については、当該指標中「自己情報開示請求」を「保有個人情報開示請求」に、「15日以内」を「30日以内」に改めたため、管理指標0503を新設した。

セス件数 802.792件 実績値 1,497.895 1,262.677 904.138 933,533 以上 取策			はまれたの##*#カッドー	* D II ++		指標数	4	4	4	4	4		
主な内容 管理指標 基準値 R3)6		ソタル社会へ	達成状況	達成数	4	4	4	4	0		
100 ボームページャク			MIRKCO			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
The content of th			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
1000 ホームページ・メール マガシンの充実				+ / 10 1775	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	11+	
10001 ホームページ・メール マガジンの充実					000 700#	実績値	1,497,895	1,262,677	904,138	933,533		1+	デジタル 政策課
Page Page			ホームページ・メール	ヒ人什奴	802,79214	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	MAN MIN
録者数 12.671人		06		メールマガジン登	R1	目標値	13,000	13,500		,			デジタル
Part				録者数	126711	実績値	19,182	19,940	20,487	26,127			政策課
1					12,011	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
19 100 2 2 2 2 2 2 2 2 2			オープンデータ化の推	オープンデータの	R3.2.1	目標値	50	65				件	デジタル
日本													
要解系システムのクラウト運用													
100 10	日煙値 9990 9990 9990 9990												
図		06			-	実績値	100	100	100	100		/0	デジタル 政策課
成することができた。 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。 0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。 0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度の実績を踏まえ目標値の再設定を行った。 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。 0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。 0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を成することができた。 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。 0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう弱めていく。 0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施するとともに、トッページのレイアウトをリニューアルすることで、見やすさや情報に到達するまでの操作性を改善し、目標を達成することができた。 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。				1.5.1245	, , , ,								
 □ P C C P P P P P P P P P P P P P P P P	年	R	0601 「市の魅力の発信」が 成することができた。 0602 市が保有するデータを また、積極的に公開し 0603 基幹系システムの安定	及び「利用者目線」 また、メールマガ を積極的にオープン しているため、目標 官的な運用ができて	に重点を置 ジン登録者 データとし 値の再設定 いるため、	いた情報 (数につい いて公開す でを行った 今後も編	限の提供がで いては、令和 「ることで、 ことで、 こと ま持できるよ	きるよう職 4年度の実 目標を達成 う努めてい	員に対して 績を踏まえ することが く。	目標値の再記できた。	役定を行った 	<u> </u>	
□ 0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。 □ 0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施するとともに、トッページのレイアウトをリニューアルすることで、見やすさや情報に到達するまでの操作性を改善し、目標を達成することができた。 □ 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。			成することができた。								色することで	₹、目	標を達
1	評									できた。			
ページのレイアウトをリニューアルすることで、見やすさや情報に到達するまでの操作性を改善し、目標を達成することができた。 0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。	価		0603 基幹系システムの安気	官的な運用ができて	いるため、	今後も糾	持できるよ	う努めてい	<.				
6 0002 中が保有するデータを積極的にオープファータことに公開することに、目標を達成することができた。		R	ページのレイアウトを た。	シリニューアルする	ことで、見	しやすさか	情報に到達	するまでの	操作性を改	善し、目標を			
UDUS 埜軒がン人ナムの女体的な連用ができているにの、ラ俊も維持できるよう分のていく。		6 0002 中が保有するデータを模型的にオーププデータとして公用することで、目標を達成することができた。											
※7 システムのクラウド化に伴い、計測方法等が異なるため、基準値を一とした。									\ 0				

07 行政内部の電子化の推進 造成状況 達成状況 達成状況 達成状況													
-	07	7 行政内部の電子化の打	推進	達成状況	達成数	1	1	1	1	0			
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		電子化(キャッシュレス			目標値	1	2	3	4	5	件	デジタル政策課	
	0	701 納税、ペーパーレス化、電子決裁等)に向けた検	電子化の導入件数 (累計)	_	実績値	1	3	4	5			庶務課収納課	
	○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 以上 企画記												
	R 0701 令和3年9月から、納付書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取ることによりクレジットカードや電子マネーで納付 3 することができるキャッシュレス納税サービスを導入し、納税者の利便性を向上させることができた。												
年	0701 「伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の施行及び電子申請システムを導入し、子育で・介護関係の手続について電子申請を可能とした。【1件】また、ビジネスチャットシステムについて、本格運用を見据えた試行運用を実施した。												
度評価	R 5	0701 市民サービス、行政が りを推進することをE た、令和5年4月から め、金融機関からの紹	目指し、2月に「デ SQRコード等を利	ジタルファ 用した納付	ースト宣が開始さ	言」を表明	し、市公式	LINEULa	ーアルのた	めの予算を	確保し	<i>」</i> た。ま	
	R 0701 市民及び観光客の利便性向上等を目的として、令和6年7月に市公式LINEをリニューアルして公開した。公開に合わせ、これまでに構築したオンライン手続き等にLINEから到達できるよう集約したほか、公的個人認証のシステムをLINEに搭載することで「伊東市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」の申請がLINE上で全て完結できるよう試験的に実施した。【1件】												

※8 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

				指標数	1	1	1	1	1		
	08 文書等の標準化		達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	無準的な立事等の作品	文書事務研修会の	R2	目標値	1	1	1	1	1		
	O8O1 標準的な文書等の作成 のための仕組みづくり	又音争笏町修云の 開催	10	実績値	1	1	1	1			庶務課
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上	
	R 0801 文書事務に関する新信3	壬研修のほか、ガル	ーン資料室	に「伊東	市の文書事	務」を掲載	し、職員への	の周知を図っ	った。		
年度	R 0801 文書事務に関する新任4	壬研修のほか、ガル	ーン資料室	に「伊東	市の文書事	務」を掲載	し、職員への	の周知を図っ	った。		
評価	R 0801 文書事務に関する新位	壬研修のほか、ガル	ーン資料室	に「伊東	市の文書事	務」を掲載	し、職員への	の周知を図っ	った。		
	R 0801 文書事務に関する新信	壬研修のほか、ガル	ーン資料室	に「伊東	市の文書事	務」を掲載	し、職員への	の周知を図っ	った。		

※機構改革に伴う業務の見直しのため、 \sim R4:秘書課,情報政策課、R5 \sim :職員課,デジタル政策課 ※目標値における()は、当初の目標値

担当課	担当課 財政課・企画課・収納課・課税課・公営競技事務所		棹	靖想の推進1	の全指標達	成率	
構想の推進	D推進 総合計画を推進するための土台づくり 3		R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	通策分野 3 健全かつ持続可能な財政運営 1		13	13	13	13	13
日指す姿	健全かつ持続可能な財政運営ができている	達成数	11	9	9	9	0
日担9女	度主が ク技術 可能な対域度名が てらている	達成率	84.6%	69.2%	69.2%	69.2%	0.0%

				指標数	2	2	2	2	2	٦				
1 F	成果指標(KPI)			達成数	1	1	1	1	0	1				
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	1				
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		の地方債残高(臨時財	R1	目標値	320	315	310	305	300	/** CD				
指標	政対策債を			実績値	310	298	285	273		億円	財政課			
1		,,,,	324億円		〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以下	7,6-7,6-1			
目標	i R1の324億	円を基準に、健全化判断比							 新し、 今後		幅な			
の の		めないことから、借入を抑									.165 01			
考え							1.5., 5.,			_,				
	Γ± ΦΒ+Τh ℓ	の除入な運営」に共口	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成果		の健全な運営」に満足	R2	目標値	55,0	55.0	55.0	55.0	55.0	0/				
指標		民の割合(市民満足度	50.40/	実績値	45.3	49.4	47.6	52.8		%	財政課			
	52.1% 評													
日煙	3標値 R2の52.1%を基準値と考え、市民の過半数が本市の財政状況を憂うことなく、生活(市民サービスを享受)できている													
のの														
	の「状態である現状を維持していくことを目標としたにめ。 考え方													
	a (実績評価)	・地方債残高については、目	標を達成で	きた。										
	1 22 134 01 100 /	一般会計において、これまで	の大規模事	業の実施	により地方	債残高が増	加しことに対	加え、新図書	書館建設事業	業が進	捗して			
		いるので、今後借入の抑制に												
R	(次年度修正占)	・ 今後も借入の抑制に努めて	1/1<											
3	(八十)又(9)正流/	クしている。	V 1 \ 0											
年度	2 (実績評価)	• 令和2年度に比べ6.8ポイン	ント悪化し	<u> </u>										
及	Z ()	13/10/2 / (2.10)												
	(次年度修正点)	・ 市民に分かりやすい財政状	況の開示に	努めてい	١< .									
	OK TOUR TANK	7-2012/3/2 3 (3 0 0/32/200	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,,,,,										
	1(実績評価)	・地方債残高については、目	標を達成で	きた。										
	1	一般会計において、令和4			られたこと	により地方	債残高が減れ	少したものの	の、今後もス	大規模	事業が			
		見込まれるため、借入の抑制	に努める必	要がある	,)。									
R	(次年度修正点)	・ 今後も借入の抑制に努めて	いく。											
4														
年度	2 (実績評価)	• 令和3年度に比べ、4.1ポー	イント上昇	したもの	の、目標値	には届かなが	いった。							
152														
	(次年度修正点)	• 市民に分かりやすい財政状	況の開示に	努めてい	۱ < 。									
	1 (実績評価)	・地方債残高については、目	標を達成で	きた。					- 0.44.1					
	,	一般会計において、令和5 見込まれるため、借入の抑制				により地万	債残局が減れ	少したものの	か、今後もス	大規模	事業が			
		見込まれるにめ、信人の抑制	に劣める必	安かめる	00									
R 5	(次年度修正点)	・ 今後も借入の抑制に努めて	(L)<											
年	0(1202110) [X 0] [X 1 X 1	• • • •											
度	2 (実績評価)	・令和4年度に比べ1.8ポイン	ノト悪化した	٥.										
~														
	(次年度修正点)	・財政健全化法に基づく健全	化判断比率	は、各指	標において	適正な水準	を維持して	おり、財政の	の健全な運営	営自体	はでき			
		ているため、広報や周知に当	たっては手	法や回数	を研究し、	市民に分か	りやすい財	政状況の開え	示に努めてい	1<.				
	1 (実績評価)	・地方債残高については、目	標を達成で	きた。										
		一般会計において、令和6	年度の借入	額が抑え		により地方	債残高が減れ	少したものの	の、今後もス	大規模	事業が			
		見込まれるため、借入の抑制		要がある	0.									
R	(次年度修正点)	• 今後も借入の抑制に努めて	いく。											
	6 年 0 / 実 様 証 無)。全和5年度に比べ5.2ポイントトリー たたのの、日標値には足がなかった													
度	度 2 (実績評価)・令和5年度に比べ5.2ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。													
	(次年度修正点)・財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はでき													
	(次年度修正点)								の健全な運営	営目体	はでき			
		ているため、周知の手法を研	光し、巾氏	によりた	いからなるい	財政状況の	用示に劣め	しいく。						

_	-	t- -	949 (O#== I*\ -	3.中央 / 4 fcラ - い)		指標数		11	11 8		11		11	11		本的な取 ・主な内
2	埑	本的は日	双組(2桁コード)・主な	30谷(4桁コート)		達成数達成率		10).9%	72.7		8 72.7%	+	8 72.7%	0.0%	容況	の達成状
		_				指標数		3	12.1		3		3	3	200	
\mathcal{C})1	伊子	全な財政運営と財政	切其般の強化	達成状況	達成数		3	2		2		2	0	-	
C	ו	圧土	この別以底古し別り	以空盆り出し	建热扒 加	達成率		<u> </u>	66.7		66.7%		<u>~</u> 66.7%	0.0%		
Г			主な内容	管理指標	基準値	廷戍平		0.0 <i>7</i> 6 R3	R4		R5		R6	R7	畄位	担当課
-				日年1日は	R1	目標値		~5.0	3.0~		3.0~5.) :	3.0~5.0			15_10
	0-		入の確保と歳出の抑	実質収支比率		実績値	0.0	5.4		5.3	6.		4.7	0.0 0.0	%	財政課
	Ŭ	101 制		XXIVXIII I	2.3%	評価	0			-:-					程度	//J D/CD/K
					R1	日標値		86.0		36.0	86.		86.0	86.0		
	0	102 経	常経費の節減	経常収支比率		実績値		83.1		88.8	88.	_	89.9		%	財政課
				,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	88.8%	評価	0	達成	× 未i		× 未達原		未達成		以下	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				R1	目標値		12.0	1	2.0	12.)	12.0	12.0	0/		
	0	103 借	入金の健全化	0.40/	実績値		5.7		5.6	5.	9	6.5		%	財政課	
				6.1%	評価	0	達成	〇達	成	〇 達成	C	達成		以下		
		0101	実質収支比率について	ては、目標を達成で	きた。地方	消費税交					加し、人	‡費;	が減少した	こことなどだ	から、	前年度
より改善した。																
	R	0102	経常収支比率について											こことなどだ	から、	目標を
	3		達成することができた													
		0103	公債費比率については	は、目標を達成でき	た。要因と	:しては、	分子	とおり	て、公	営企	業に要する	3経	費の財源の	とする地方	責の償	還の財
			源に充てたと認められ おいて、普通交付税)()),	万母に
-		0101	実質収支比率について												批产	特例交
		0101	付金が減少したことも				, 1 / L	//心/	·ш о ужу		10100.7	١٠٧٦٠	י חנים בי ביוויו	J/C 00707 (۔ ارتاء	עניו פר
		0102	経常収支比率について	ては、歳出では、人	件費、物件	費及び網	出金	が増と	なり、	歳入	では、地	5税	や地方交付	寸税が増とな	-62	方で、
	R	0102	地方特例交付金や臨時	寺財政対策債が減と	なり、目標	を達成す	るこ									
	4		経費を抑制しつつ、前	<u> </u>	の増収に努	めていく	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	ハフィ	+11.17	1-	一山岸。	200	55-5° 4-7-0	7CTM /	\24 <u>\</u>	** 1~ as
		0103	実質公債費比率につい する経費の財源とする													
ᇨ			交付税額が386,836									<i>)</i> ((اران کار	7 7 GIC0	50 i C	、 日.匝
年) (15 1/1 <u>15</u> (15 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1100 120 120 12	,,,, <u> </u>	00 1102	_,,,,,		,	,	. •					
1		0101	実質収支比率について	ては、目標を達成で	きた。地方	税や地方	交付	税が増	加し、	物件	費が減少	ノた i	ことなどフ	から、前年周	きより	改善し
			た。										_			
度		0102	経常収支比率について	ては、歳出では、公	債費、扶助	費及び網	出金	が増と	なり、	歳入	では、地流	5税	や地方交付	寸税が増とな	-62	方で、
		0102	地方消費税交付金や監										とはできれ	なかった。 🗧	う後に	ついて
	R		は、歳出においてはる	さらに経常経費を抑	制しつつ、	歳入にお	いて	は市校	の増収	に努	めていく。					
評	5		実質公債費比率につい)では、日標を達成	できた。元	利償還金	の解	が30.	010 ∓	円増.	公信書	* 進	ずる債務値	自担行為に係	なる も	のが
		0103	20,163千円增、臨時	詩財政対策債発行可	能額が213	3,242千	円減	など指	漂悪化の	ク要因	見もあった	もの	の、普通	交付税額が	231	825千
			円増、標準税収入額が	が305,723千円増7	など指標改	善の要因	もあ	り、総	合すると	と前年	F度よりも	若干	Fの悪化で	ごはあるもの	の、	引き続
価			き目標値の範囲内とな	まった。												
ш-		0101	実質収支比率について	ては、歳出について	人件費や扶	助費が増	£πn L	たこと	などか	Б. і	前年度より	716	3ポイント	悪化したも	თთ.	日標
		0101	を達成できた。		, (II) 2 (-1)/	-13 5-(13 16	,,,,, С	,				- ' . '		.3.100/20		
		0102	経常収支比率について増となる一方で、地方													
	R		遺になる一万で、地方 後については、歳出に											-C18 C34	נכינו:	こ。フ
	6												· · · · ·			
		0103	実質公債費比率につい	1ては、目標を達成	できた。普	通交付税	額カ	189,14	15千円:	増、	標準税収	(額7	595,64	7千円増なと	指標	改善の
		3,00	安国もめつたものの、	儿利貝退並の領力	33,039T	门岿、一	-即事	粉組口	寺の起	COI	こ地刀頂	-兀	てんここ ごぶる	つりこの無は	リ 本 ス	は貝担
			金が14,768千円増、 ント悪化ではあるもの					コ泌る	一拍标志	±160.	安囚もの	ツ、	福口96	に則年及よ	りも	2.0/11
			> 1 /m/n clam/000	ノッハ コロルに日常	にしてもにという	こる」に	-0									

					指標数	1	1	1	1	1]	
	0	2 財源の効果的活用		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		DDC 4 コラミッソント		R2	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	
	(D2O1 PDCAマネジメント サイクルの推進	見直し事業の割合	20.6%	実績値	22.8	23,8	22.1	21.8		/0	企画課
		フィン/D®列配医		20.076	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
	R 0201 令和2年度に比べるとパーセンテージが上昇したが、目標値には届かなかった。令和4年度については、重点的な見直し項目を増 すことで、積極的な見直しにつなげる。											
1	F F	ロを描め」 き塚のか			合として	は目標値に	届かなかっ	た。令和5:	年度について	ても、引き約	売き見	直し項
	度 <u>*</u> 平 F 西 5			数は減少と	:なった。	型通りの作	業にとどま	らない事務	事業の見直し	Jを実施して	ていく	ため、
	R 0201 過去3年間の目標値未達成を踏まえて、サマーレビューの原点に立ち返り、「必要性」「成果検証」「役割分担」「事業の進め方」「業務量・時間の縮減」の5つの見直しの視点による既存事業の見直しを行った。一定規模の見直しは行われているものの、目標値には届かなかったため、効果的・効率的な事業内容への改革・再構築へ向けた議論を深めていく必要がある。											

					十二十五十二	4	4		4	1	1	
	03	自主財源の確保		達成状況	指標数達成数	4	3	3	4	0		
'	JS	日土別源切住休		達別扒沉	達成茲	100.0%	75.0%	75.0%	100.0%	0.0%		
		 主な内容	管理指標	基準値	连戍竿	R3	R4	R5	R6	R7	畄位	担当課
		土なり台	6年16年	坐竿但		110	1 14	2.855.787			丰四	1230末
			現年課税分調定額	R1		2,707,242		(2,800,000	2,679,929 (2,900,000)	3,000,000	千円	課税課
			(個人市民税)	2.893,707千円	実績値		2,900,682	3,004,722	2,836,613			011170011
				2,000,101113	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	03	801 課税客体の的確な把握	現年課税分調定額	R1	目標値	393,038	383,711	469,669 (383,711)	452,932 (383,711)	383,711	千円	課税課
			(法人市民税)	484,380千円	実績値	396,785	427,426	440,065	480,917			赤竹花味
				404,300 113	評価	〇 達成	〇 達成	× 未達成	〇 達成		以上	
			現年課税分調定額	R1	目標値	4,714,800	5,328,900	5,114,350 (5,308,900)	5,076,582 (5,168,900)	5,168,900	千円	≘⊞∓X≅⊞
			5,329,725千円	実績値	4,861,871	5,160,997	5,180,004	5,135,577			課税課	
			3,328,723113	評価	〇 達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成		以上		
				R1	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	
	03	3O2 徴収体制の強化	市税の収納率	92.1%	実績値	94.1	94.9	95.1	95.4			収納課
				52.170	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
	R 3	0301 3項目全てにおいてE 0302 市税の収納率は、滞約 感染症等に係る徴収額 0301 評価: 固定資産税調別	n整理の推進により	ものが納付	された紙	苦果、 目標値	を2.1ポイン	ントほど上回	回ることがで		コナウ	イルス
	R	目標値の修正:令和5	5年現年課税分調定	額目標値に	ついて、	より現実の	数値に近づ	けるため、	令和5年度	当初予算額は	こ修正	する。
年	4	O3O2 市税の収納率は、滞終があった前年度から原	支動減となったが、	現年度分は	引き続き	前年度を上	回り、目標	値を1.9ポー				
度		O3O1 評価:法人市民税調気 目標値の修正:令和6	主額のうち、特に均 3年度現年課税分調!	等割が減少 定額の目標	したこと 値につい	により目標 て、より現	額を下回っ実の数値に	た。 近づけるため	か、令和6年	度当初予算	額に個	多正す
評	R											
価		るよう取り組んでいく	<.									
	R 6	0301 3項目全てにおいてE ため、令和7年度当初			:令和7	7年度現年課	税分調定額	の目標値に	ついて、より	り現実の数値	直に近	づける
	O	0302 市税の収納率について	て、堅実に滞納整理	を進めてい	く中で、	目標値をO	.4ポイント.	上回ることだ	ができた。			

					指標数	Z	3	3	3	3	3		
()4	4 競輪事業の健全運営	5	達成状況	達成数	•	3	3	3	2	0		
					達成率	₹ 1	00.0%	100.0%		66.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7		担当課
	\circ	車券売上金の増加対策 (場間場外発売及び電	 年間総車券売上高	R1	目標値	T	160	170	180	275 (190)	275 (200)	億円	公営競 技事務
	U,	401 話・インターネット投票	(本場開催分)	150億円	実績値		270	318		331			投事務 所
		の拡大)		1001013	評価		達成	○ 達成	〇 達成	○ 達成		以上	771
	_	400 trian > 0 vir/n	民間ポータルサイトによる車券売上高	R1	目標値	Ī	68.8	73.1	77.4	206 (81.7)	206 (86.0)	億円	公営競
	O,	402 新規ファンの獲得	(重勝式十7賭	48.5億	実績値	Ī	161.8	199.1	238.3	240.9			技事務 所
			式)	円	評 佃	5 0	達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	ומ
		402 開催経費のより一層の	開催経費率(払戻金	R1	目標値	Ī	25.0	25.0	25.0	23,2 (25,0)	23.2 (25.0)	%	公営競
	O ₄	403 適正化	本場開催の年間総車券	0.50/	実績値	1	23.2	22.7	22.3	24.0		7	技事務
			売上高)	25%	評価	5 0	達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以下	所
O4O1 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成								き続き、魅	力ある競輪	場をめざし	、売上向上を	を図っ	てい
	R 3	0403 選手賞金等の上昇も	することによって、	更なる売上しの結果、	向上を 目標を	図っ 達成	ていく。 できた。		まため、目標	悪を達成でき	きた。引き続	₹SN	ISや民
		0401 電話・インターネック和6年度に特別は	ト投票の売上が好調 輪「第9回ウイナー	なため、E	標を達	成で」盟	きた。引催が決定	き続き、魅	日標値を増	かした。	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		たい。
年	R 4	いる意というでは	・の売上が全体売上の 引ポータル等を活用す 議「第9回ウイナー	90001cd	とうし、	実る		リエを図りた	_ / I _o		達成できた。		
度		0403 選手賞金等の上昇も		しの結果、	目標を	達成	できた。			الله الله			
反		0401 民間ポータルサイト								引き続き	魅力ある部	: 語話 1	をかざ
		し、売上向上を図っ	ていく。売上好調に	つき過去3	か年が	目標	値を上回]ったため、	目標値を上	方修正した	0	近+m192	اعرفاج ا
評	R 5		引ボータル等を活用す	約72% (* することによ	育和4年 よって、	まさる 更な	取約63% る売上向)に達する 旬上を図りた	等好調なだる。	め、目標を 問につき過	達成 ぐさた。 去3か年が	目標値	直を上
価		O4O3 選手賞金等の上昇も 催経費率向上を図り	あったが、業務見直 たい。売上好調につ								ことによって	て、更	なる開
0401 民間ポータルサイトを中心としたインターネット投票の売上が引き続き好調なため、目標を達成できた。今後も、魅力ある競輪場を目指し、売上向上を図っていく。												競輪場	
0402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の72.3%(令和5年度は72.06%)に達する等好調なため、目標を達成できた。 引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。													
	J	O4O3 選手賞金等の上昇やなかった。「車券引	特別競輪開催もあり 上金の増加対策」や なる開催経費率向上	リ制規プア	ソンの獲	いな 得」	がら開催 について	運営に努め は目標達成	たが 、 必要 ;しているの	経費が増加 で、継続し	したため目標 て業務の見配	票を達 直しを	成でき実施す

※目標値における()は、当初の目標値